

慈愛に満ちた癒やしの時間 ～ 小さな事に忠実に話し合う ～

2025 年 5 月 10 日は、救世軍清瀬病院敷地内にある一軒家『ルカの家』での講演会に『暮らしの保健室 Café』主催の野口恵子チャプレン(『がん哲学外来 小岩メディカルカフェみちくさ』の担当者)から【先生を囲んで、哲学的な対話が みなで出来たらと願っております。対話の呼び水として、先生のお話を、ゆっくりとしていただけたらと願っております。】と招かれた。【ルカとは、聖書の中の人物で、医者でした。この建物『ルカの家』で、超高齢社会に向けてニーズが高まっている暮らしにある保健室『暮らしの保健室 Café』を始めました。】と謳われている。皆様の真摯な姿勢には 大いに感動した。まさに『顔を合わせて話し合しましょう』(ヨハネの手紙 第三 14 節)の実践である。

『東久留米がん哲学外来・カフェ』に毎回参加されていた 今は亡き『前田こずえ』様が 救世軍清瀬病院入院中に作成されたカルタ集(画像)を製作されたご主人と、今度、救世軍清瀬病院に移動され『がん哲学カフェ in 清瀬』を開設される高畠恵子牧師先生(『Salvo がん哲学カフェ in 神保町』の担当者)も参加されていた。

早速、【『樋野興夫先生：本日は、ご多用の中、講演のみならず、一人一人の語りに寄り添い、言葉を添えてくださり、誠にありがとうございました。こずえさんご家族にとっても良い時間だったように思うのと、他ご遺族の男性も、ハッとさせられて、励まされたと、帰るときも仰っておられて、感謝しております。私も、こずえさんを思い出したり、ゆっくり先生と対話できたりする中で、癒やしの時間となりました。心より感謝申し上げます。』&『本日は、保健室にてお会いでき、ご講演を拝聴する時をありがとうございました。暖かな雰囲気、空間、ゆったりした時間の流れ、細やかな気遣いに心地よく過ごさせて頂きました。また気づきや学ぶ事もあり感謝いたします。』】との心温まるメールを頂いた。

5 月 11 日は都内の千代田区の番町教会で、午前中の礼拝『はじめに ことばありき』と午後の講演『慈愛に満ちた行動～小さな事に忠実～』を依頼された。(画像)。



特別礼拝と講演会のお知らせ

病や困難や喪失は誰もが自分の人生から遠ざけておきたいものですが、時に人はそれと直面します。人はどのように病や喪失の時間を生きればいいのか、「がん哲学外来」で知られる樋野先生にそのヒントをいただきたいと思います。



樋野興夫 先生

(順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長、恵泉女学園理事長)

奨励 10:30
『はじめに ことばありき』

講演 14:00
『慈愛に満ちた行動』～小さな事に忠実～

樋野興夫先生 経歴

1984年～1991年 (財) 癌研究会癌研究所病理部研究員
1984年～1985年 米国アインシュタイン医科大学肝臓研究センター
1989年～1991年 米国フォクスチエース癌センター
1991年～2004年 (財) 癌研究会癌研究所実験病理部部長
2003年～2019年 順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授
2019年～ 新渡戸稲造記念センター 長
2021年～ 恵泉女学園理事長

日時

5月11日(日)

礼拝 10:30～

講演 14:00～

会場

日本基督教団 番町教会

東京都千代田区大番町7-12

南北線/JR四ツ谷駅麹町口より徒歩3分

